

## 流域の定義

川などを流れる水の基となった雨の降下範囲, を流域または集水域という. ある流域と他の流域との境界線を, 流域界または分水界という. 新聞やテレビ等では, 川の流れの周辺という意味で, ○○川流域と表現していることが多々あるが, 地理学では, 流域という語を, 川の流れの周辺という意味で使うことはない.

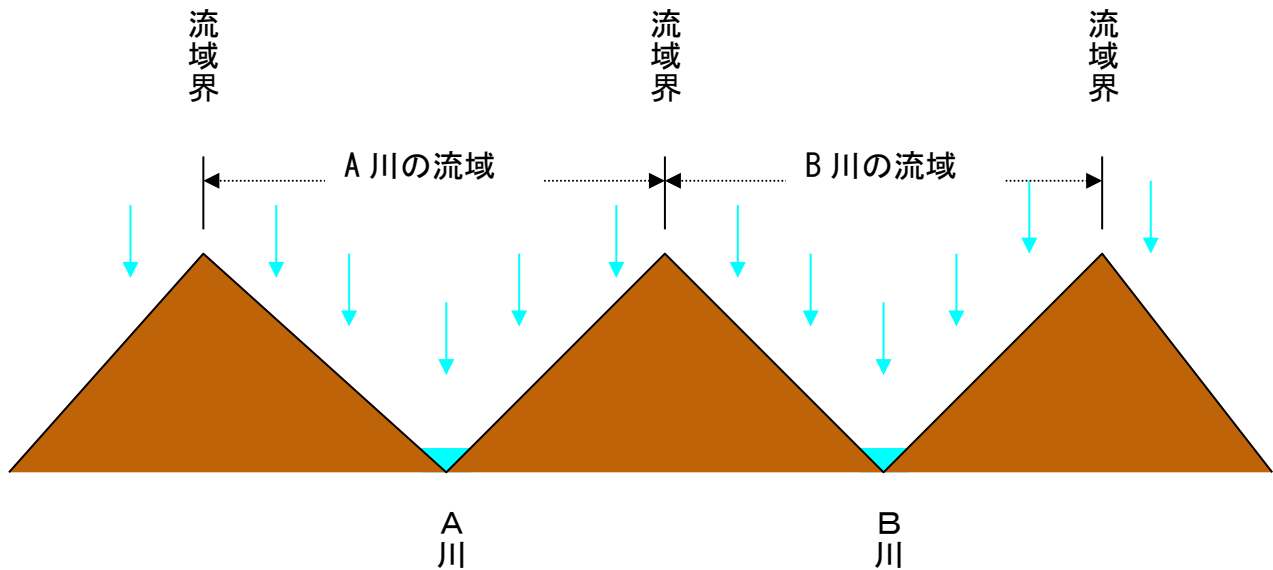


図 1 河川の横断面図と流域, 流域界の定義

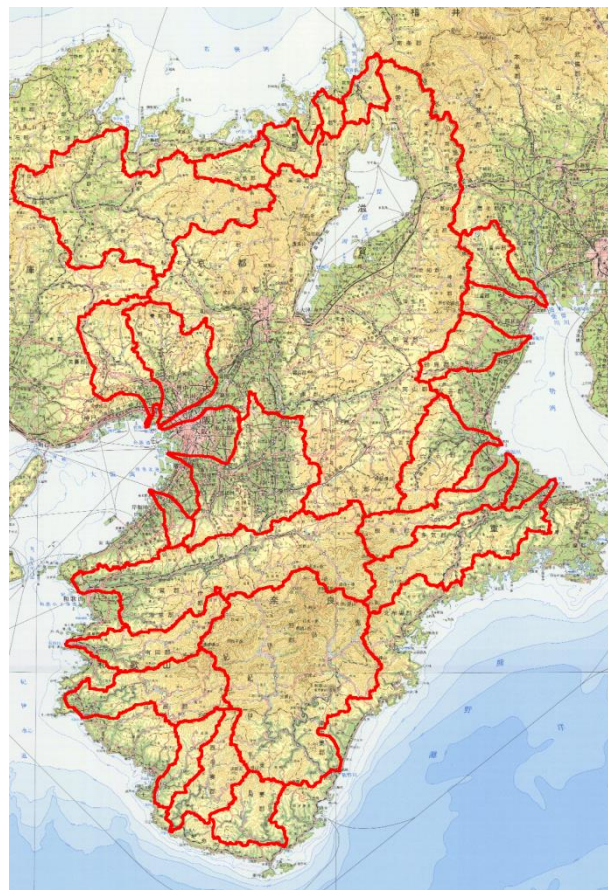
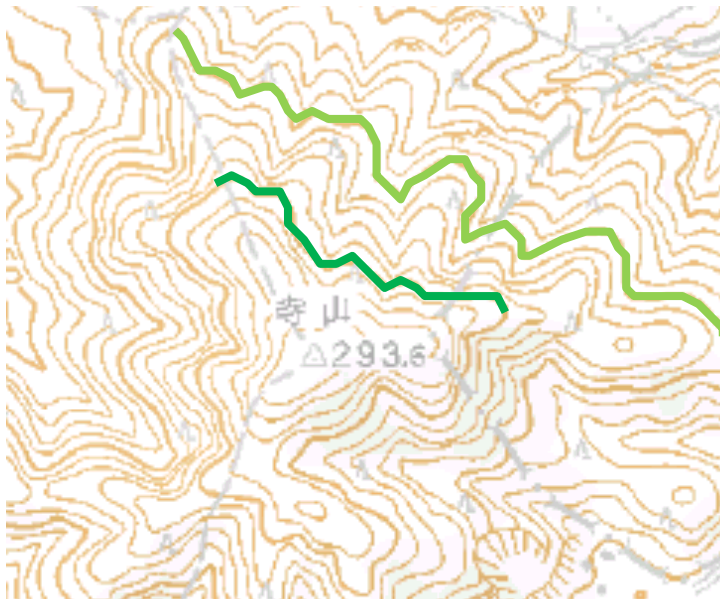


図 2 近畿地方のおもな河川の流域界

## 流域の抽出法

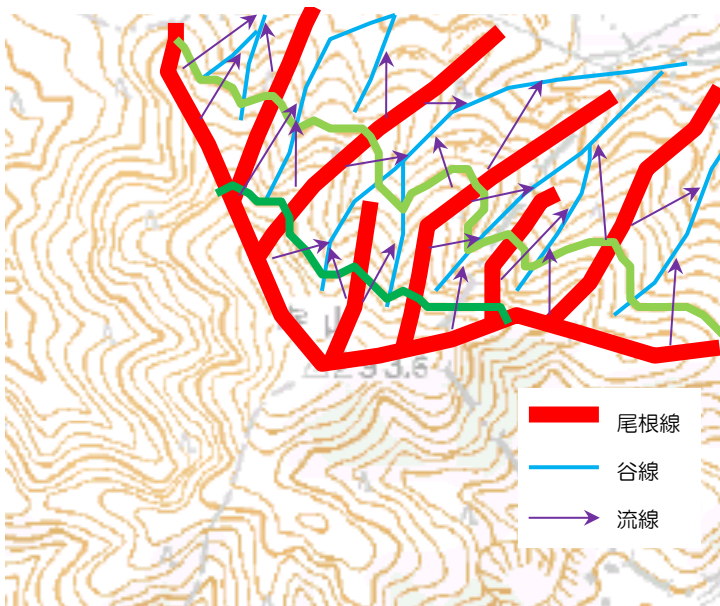
①標高 250m の等高線を緑色で、200m の等高線を黄緑色で、それぞれ塗る。等高線に色をつけると、どちらからどちらに向かって標高が低くなるかが分かるので、尾根と谷を読み取りやすくなる。



②尾根線を赤色で、谷線を水色で、それぞれ描く。等高線が、標高が低いほうに凸になっているところが尾根で、凸の先端を結んだ線が尾根線、凹の先端を結んだ線が谷線になる。



③紫色で、流線を描く。尾根線から谷線に向かって等高線に直交するように描いた線が流線（水が流れる方向を描いた線）になる。



④赤色で、流域界を描いて、流域を薄く赤色で塗る。ある点を通る谷線に流線が収束する範囲の尾根線を結ぶと流域界になる。

